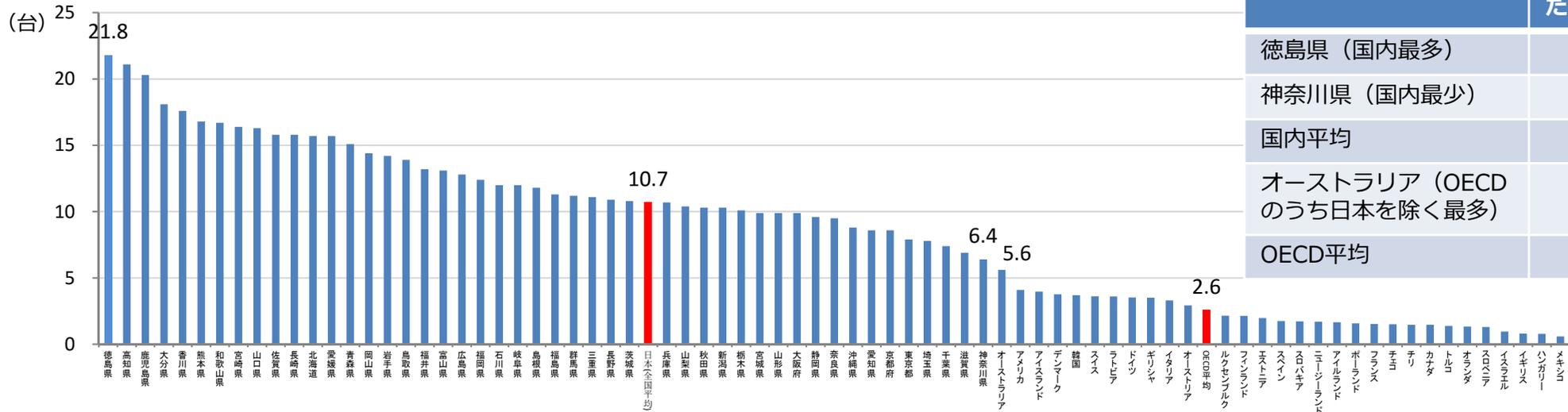


# 高額医療機器(CT、MRI)の配置状況①(平成30年度予算執行調査)

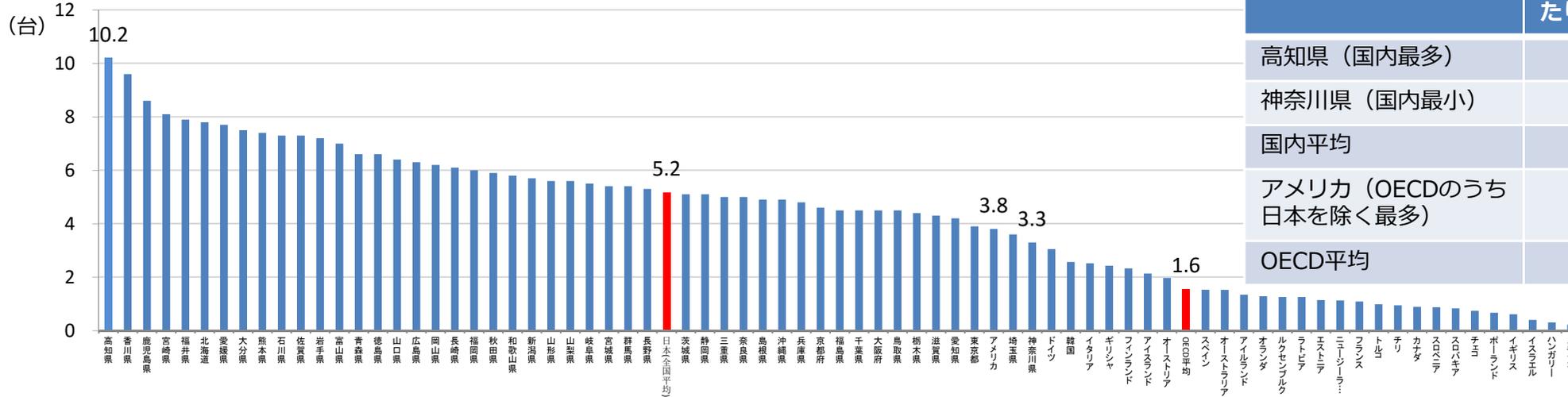
- 都道府県別の人口10万人あたりのCT台数及びMRI台数は、最も多い都道府県でCTが21.8台（徳島県）、MRIが10.2台（高知県）となっており、全国平均の約2倍の配置状況、最も少ない都道府県との地域差はいずれも3倍超となっていた。
- 更に、CT及びMRIについて、OECD諸国の10万人あたりの台数とも比較したところ、CTについては全ての都道府県においてOECD諸国の台数を上回っており、MRIについてもアメリカを除くOECD諸国の台数を上回っている状況。

## ◆人口10万人あたりCT台数（都道府県、OECD）



	人口10万人あたりCT台数
徳島県（国内最多）	21.8台
神奈川県（国内最少）	6.4台
国内平均	10.7台
オーストラリア（OECDのうち日本を除く最多）	5.6台
OECD平均	2.6台

## ◆人口10万人あたりMRI台数（都道府県、OECD）



	人口10万人あたりMRI台数
高知県（国内最多）	10.2台
神奈川県（国内最小）	3.3台
国内平均	5.2台
アメリカ（OECDのうち日本を除く最多）	3.8台
OECD平均	1.6台

(出所) 都道府県：厚生労働省「医療施設調査」、OECD：OECD Health Statistics 2017